

岩手県金融経済概況（2022年1月）

1. 概況

県内経済は、基調として持ち直しているが、一部に弱い動きがみられる。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に弱い動きがみられる。住宅投資は、持ち直しのペースが鈍化している。この間、生産は、持ち直しの動きがみられる。雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、一部に弱い動きがみられる。

百貨店売上高（全店舗ベース：2022年1月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+0.3%）。

スーパー売上高（全店舗ベース：2022年1月）は、3ヵ月振りに前年を上回った（前年比+0.9%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2022年1月）は、引き続き前年を下回った（前年比△18.2%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に弱い動きがみられる。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2022年1月）は、引き続き前年を下回った（前年比△70.7%）。

新設住宅着工戸数（2021年12月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△5.6%）。

—— 分譲（前年比+93.9%）は前年を上回ったが、持家（同△6.3%）と貸家（同△34.8%）が前年を下回った。

民間設備投資（2021年12月短観ベース：2021年度計画）は、前年度を上回る計画となっている（前年比+23.0%）。

—— 製造業では、前年度からの先送り案件や半導体関連の能力増強投資等から前年比大幅に増加する計画（前年比+32.1%）となっている。非製造業でも前年を上回る計画（同+11.7%）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2021年12月）は、引き続き前年を下回った（前年比△28.7%）。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（季節調整値：2021年12月）は、2ヵ月連続で前月を上回った（前月比+4.6%）。

—— 主な業種の指数の動きをみると、輸送機械、食料品、電子部品・デバイスが上昇した一方、生産用機械などは低下した。

四半期の動きをみると、2021/10～12月は2期振りに前期を下回った（2021/4～6月：前期比△0.6%、7～9月：同+7.9%、10～12月：同△2.0%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。

有効求人倍率（季節調整値：2021年12月）は、1.25倍と5ヵ月振りに前月を上回った（2021年11月：1.22倍）。

雇用者所得（県内合計値：2021年11月）は、名目賃金指数（前年比+0.7%）は前年を上回ったものの、常用雇用指数（同△1.0%）が前年を下回ったことから、5ヵ月振りに前年を下回った（同△0.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2022年1月）は、引き続き前年を上回った（前年比+0.3%）。

内訳をみると、光熱・水道、諸雑費などが上昇し、交通・通信、被服及び履物が下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2022年1月）は、3件、137百万円となった（前年同月は皆無）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2021年12月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2021年12月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

